

# 授業支援ソフト SKYMENU

## 操作説明会 8月6日 会場：上磯小

北斗市内小中学校へのタブレット導入 3 力年計画も今年度が最終年。最終年度は、上磯小・浜分小・久根別小・谷川小の 4 校にタブレットが導入されました。

北斗市のタブレット環境は、小中学校 9 年間の見通しをもって活用できるよう、さらに高校や社会に出たときに困らないよう、ほぼ同一の環境になっています。さらに来年度の新学習指導要領全面実施に向けて、今年度導入される 4 小学校のタブレットにはプログラミング言語学習環境「Scratch」がインストールされています。



北斗市 ICT プロジェクトでは、プログラミング教育の実施に向けて、市内の全小学校が同一歩調で進めることができるよう、さらに、ICT が苦手な先生方にも、安心して授業を行ってもらえるよう、プログラミング教育に係る全体計画や年間指導計画、授業実践例をまとめているところです。

さて、今回は新たにタブレットが導入された 4 小学校の先生方を中心に、授業支援ソフト SKYMENU 操作説明会が、上磯小学校コンピュータ室で行われました。SKY 株式会社の方を講師に、基本的な操作の仕方や授業で活用できる機能等について学びました。SKYMENU の機能だけを使っても、十分にタブレットを活用した授業を構築することが可能です。今後、市内 15 校の実践が共有化されていくことで、北斗市内の先生方の授業改善がさらに進んでいくことでしょう。

参加された先生方は、説明会が終わった後でも、熱心に質問するなど、活用に向けてその高い意欲を感じることができました。